

前処理建屋における油漏れに係る水平展開の結果について（概要）

1. はじめに

2008年4月13日に発生した前処理建屋におけるせん断機 B 油圧制御ユニットの燃料主押さえ駆動ポンプ用吐出配管フィルタの差圧計取付け部から油が約60リットル漏えいした事象を踏まえ、2008年4月23日に国に提出した原因及び再発防止対策に関する報告書に基づき、水平展開として、漏えいのおそれのある箇所を対象に、健全性を確認するための点検を実施した。

2. 点検対象

点検対象は、再処理工場において油・薬品を取扱う設備の内、消防法に定める危険物を貯蔵又は取扱う設備で、メカニカルな接合部を有し、かつ加圧を目的とした機器を有する系統に該当するものを対象とした。

3. 点検結果

点検対象として、24建屋の約2,000設備に対して、約15,000箇所の接合部を抽出し、点検を実施した。

その結果、47箇所の接合部に油のにじみを確認したが、以下に示す処置を実施し、にじみが停止したことを確認した。また、それ以外の接合部には異常がないことを確認した。

(1) 増し締めの実施。

(2) 部品交換（パッキン、Oリング）等の処置の実施。

以 上